

Honkai: Star Rail
unofficial
fanbook

アンノウン
Kafka × Himeko

[R18]
for adult only







今まで手入れされて
いなかったのか
ホコリ臭い…



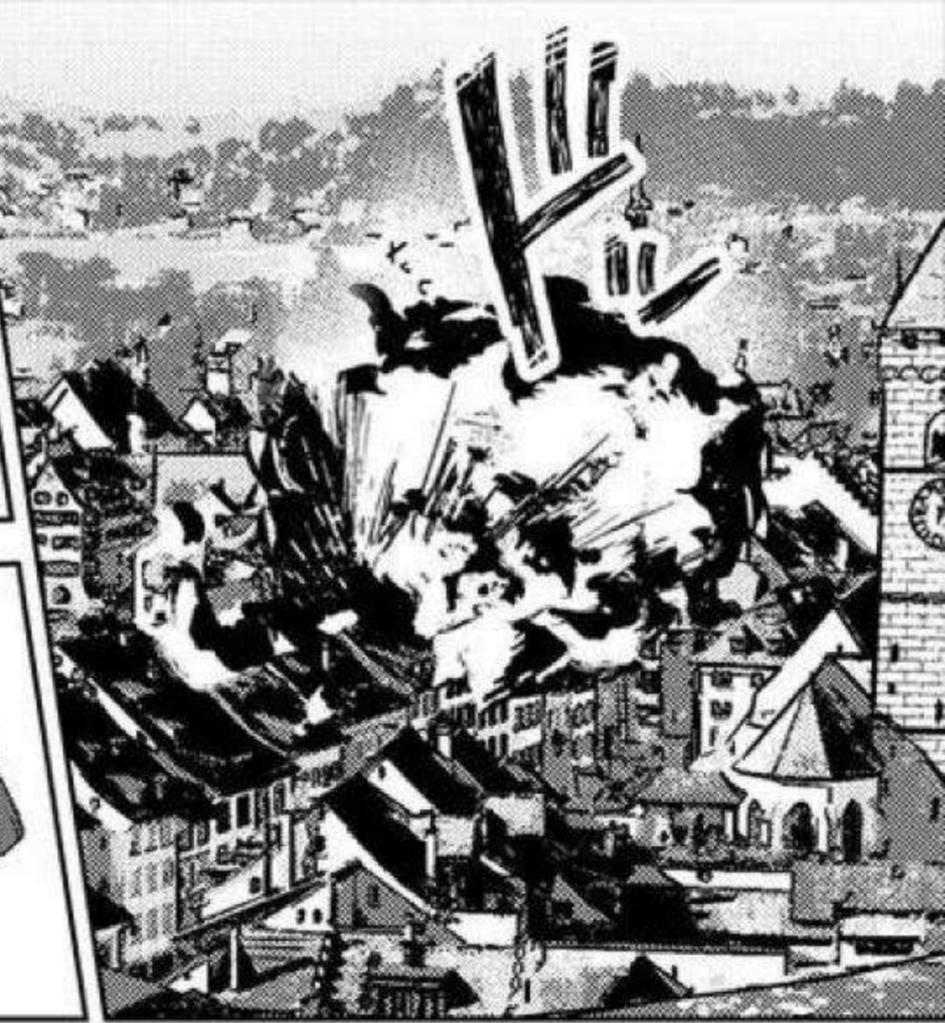
まあ急ぎで
手配してもらった
物件だし

賢沢は
言えないか…

すくじでも
掃除したい
ところだけと

日が暮れる前に
滞在のための
買い出しね

今日中に
終わるかしら











デーモン
ハンター

『悪魔』に堕ちた
人間を狩る組織

噂では聞いたこと
あるけれど

そんなに
競争性の高い
ものなのかしら…

だから何もして
いないのは本当よ

職業柄
人の恨みを
買うことには
慣れてるけど

今日みたいに
いきなり集団に
襲われるケースは
珍しいかしら

今回は報酬も
高額な案件だったから
彼らも必死だったのかも
知れないわね

ふうん…

あんたたちにも
色々あるのね



今日この星に
来たばかりの
よそ者同士が出会う

奇遇だと
思わない？



そう言えば
きみはさっき
この住人じゃないと
言っていたけれど

ええ

私は学者

この星でしか
採掘できない
特殊な鉱石の
調査で来たの

あんたと同じで
今日到着した
ばかりよ



奇遇…か

…確かに
そうかもね

ところで
ここ

きみがこの星の
滞在に使うところ
だったりするのかしら

そう

だけど…

イヤな

マア、
感心

厄介ついでに

6日間ほど
寝泊りに
使わせて
もらえない？

はあ
?!!!

さっきのゴロツキ
見たでしょ？

私の顔は割れて
しまったからもう
この町の宿は使えない

これから新たに
拠点を探さないと
いけないけれど

目立った行動は
したくないの

きみがここを
提供してくれると
言うならとても
ありがたいんだけど

だからって
なんで私が…



私もここでやるべきことがあるのよ

もちろんタダとは言わない

この星の通貨で宿代は払う

これ以上あんたを助ける義理はないし面倒ごとに巻き込まれるのも御免だわ

それからきみの仕事の邪魔になるようなことは絶対にしない

約束するわ



嘘…はついていないみたいだけれど



じゃあ改めて自己紹介するわね



…わかったわ

交渉成立

その代わりにベッドは私が使うからあんたはソファよ



この掃除も手伝えるわよ？

…うっ



私の名前は
カ

ストップ

数日の
付き合いだもの

名乗る必要は
ないわ



…わかった

きみが
そう言うなら



咄嗟に遮って
しまった

名前を呼び合おうと
情が芽生えてしまう

そんな気がして





近づきすぎると
火傷しそう



信用できない
部分も多い
けれど
そんなに悪い
やつじゃ
ないのかも

あいつ
昨夜は帰って
きてたんだ…

いけない…
うっかり
寝てた
ズル





私と彼女の
奇妙な共同生活は

すれ違いながらも
順調に過ぎていった

ガキヤ



血みどろ



おかえー

りっ!
!?



あんたまさか
怪我して…

大丈夫

これは
返り血
だから

怪我は
ないわ



しびっ
した…

あいつ本当は
殺し屋とか
なんじゃないの…?



ええ…

え

シャワー
先に
借りるわね





いらっしやい!

よかったら
見て行ってよ

お姉さん
どうだい

焼きたて
パンだよ



わ…

おいしもう

ニムカリ

でも一人分に
するには
ちよっと量が
多いわね…



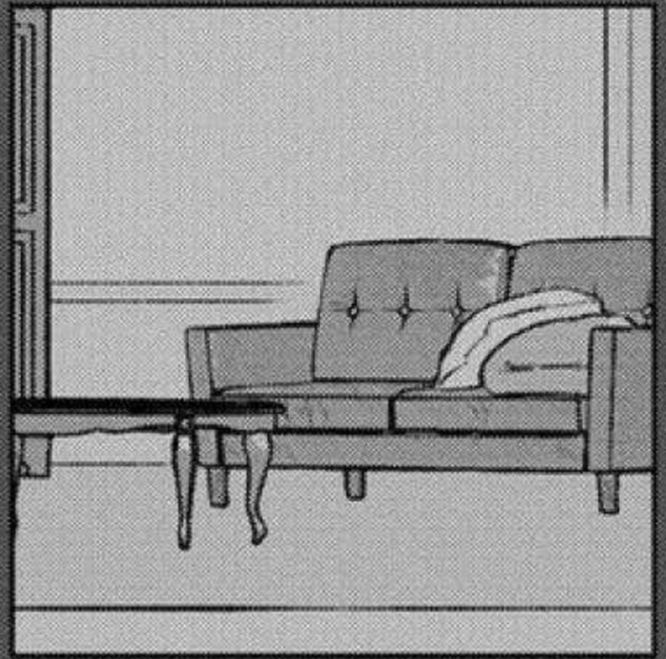
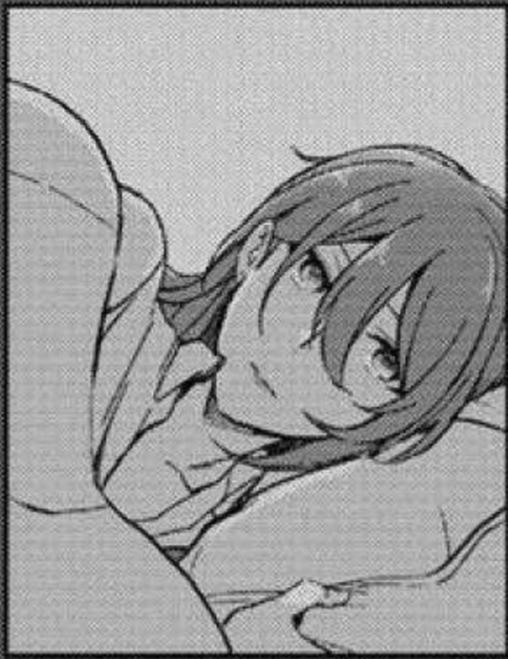
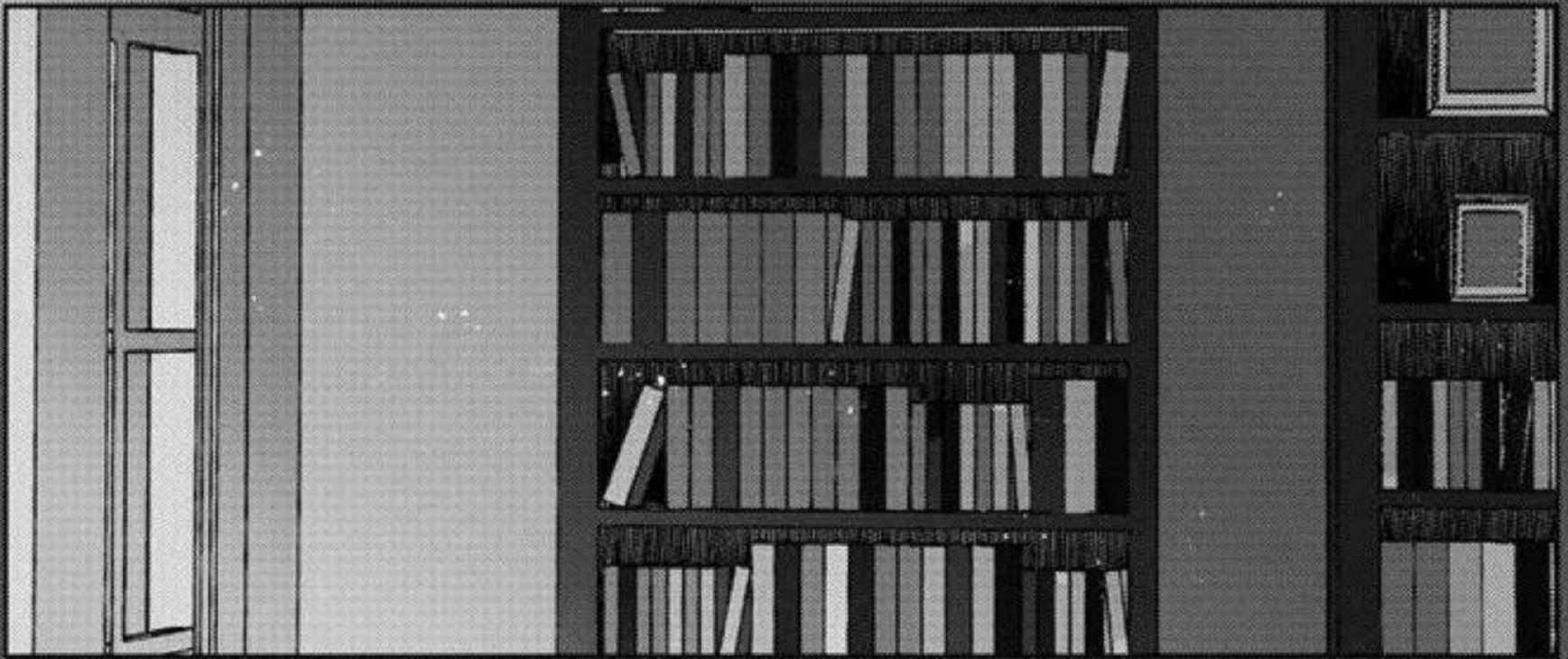
いやいや

あんな胡散臭い女
いない方がいいに
決まってる



は
ん

あいつ今日は
戻ってくるの
かしら…







ハイキヤ

おかえり

今日は
早いじゃない

そのボトル
どうしたの？

コト

任務達成の謝礼に
クライアントから
貰ったのよ

ヴィンテージ
ものワイン

あら

気前が
いいじゃない

どう？

最後の夜くらい
付き合わない？

ええ

いただきわ

最後の夜

…か



美味しい！



あんたって料理できたのね

減多に作らないけどね

口に合うなら良かった



今日まで居候させてくれたきみに
大したお礼をできていなかったことが気掛かりだったから

厚かましい癖に律儀なところあるわよね

宿代のこと？

出会ったばかりの人間に雨風凌げる場所を提供してくれたんだもの
これぐらい当然よ



ふーん 一応筋は通すってわけね



いつも任務の時は相棒がいるのだけど
今回は一人だったからちよっと退屈すると思っていたのよね

あのときみと出会えたのは幸運だったわ

それは良かったわね

まあ

お陰で私も今こうして
退屈せずに済んで
いるんだけど...

ワインも
美味しいし

ワイン



きみはかなり
お人よしって
言われない？



そんなこと
ないわよ

私は無益な
取引はしない
主義だし

それにあんたが
私の仕事を邪魔したり
不要なトラブルに
巻き込むようなら

すぐにでも
追い出すつもり
だったもの

ふふっ

追い出され
なくて
良かった

この星の
朝晩は結構
冷えるから





どうもいじょう
話してると
調子が狂うわ…

けほ、



……っ！



夜も更けて
きたことだし

そろそろ
お開きに
しましうか



あら風邪？

ちよつと
寒気が
しただけ

今夜はかなり
冷えるって話
だったわよ



よし

〇〇

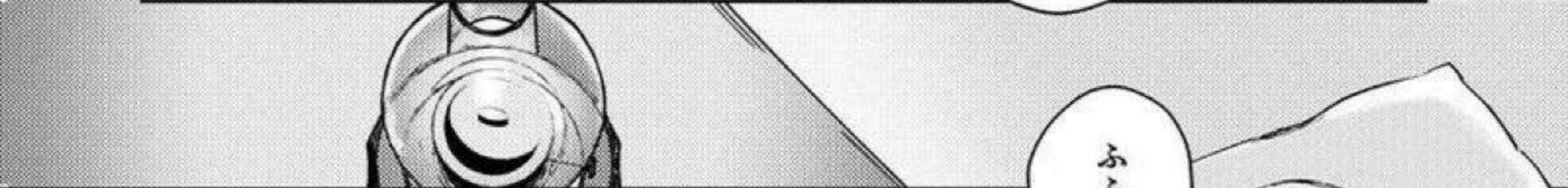


ねえ

あまり広くない
ベッドでよければ
こっちに
入って来たら？



じゃあ
お言葉に甘え
ようかしら

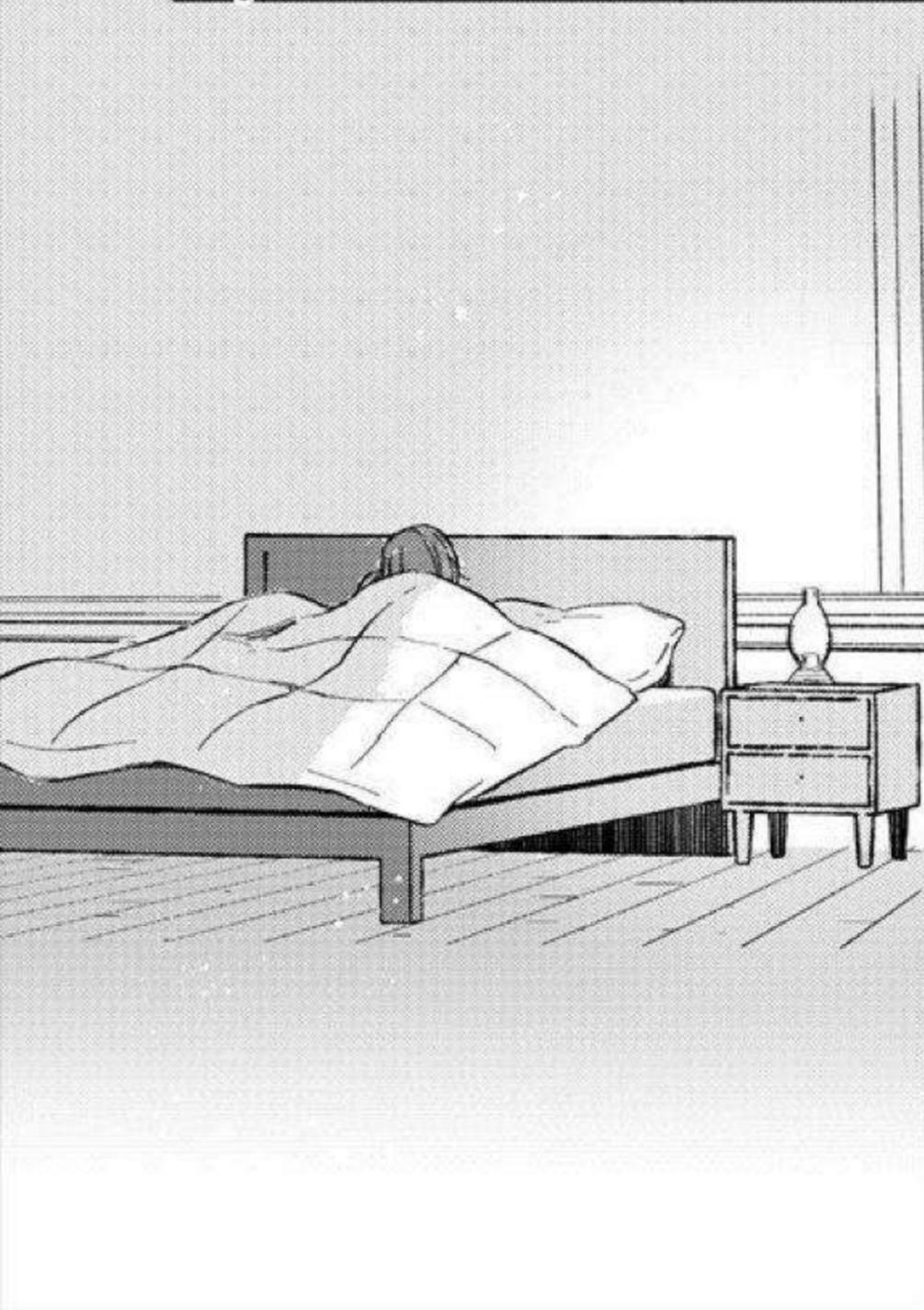


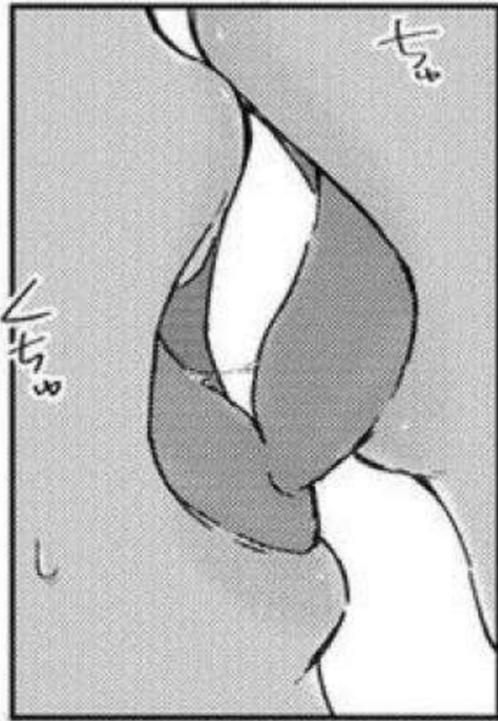
きみは体温が
高いのね



ふふっ

あたたかい

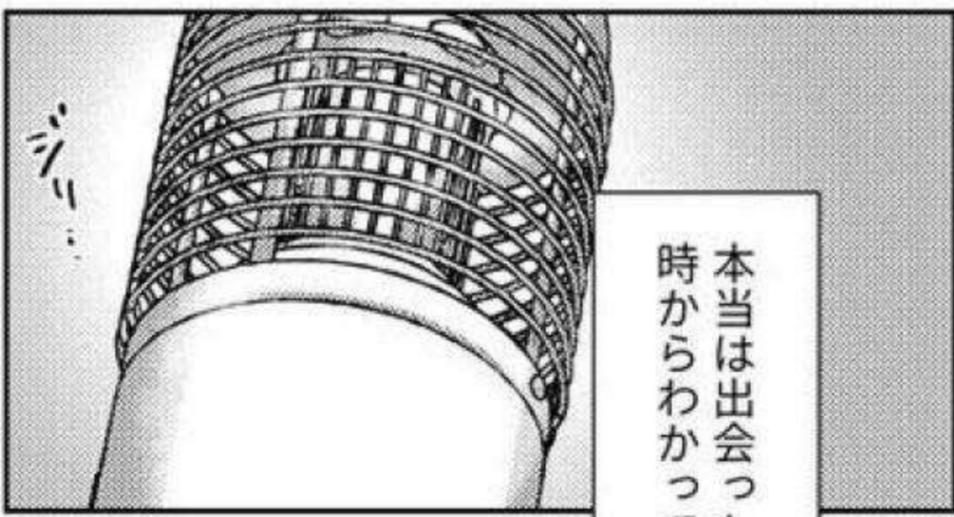






そんな
つもりじゃ…

本当に
どうかしてる



本当は出会った
時からわかってた



名前も素性も
知らない女に
抱かれている
のだから

あの時わざわざ
私が手助けしたり
なんかしなくても

追手をどうにか
できるくらい彼女が
強い人だってこと



こんな
心も体も許して
しまったのは
お酒のせい？

情が湧いて
しまったから？



…あ
これじゃ
意味がない
じゃない



よく
わからない
—けど



どうせいつは
明日ここから
出ていくんだもの



この手に
甘えてしまい
たくなる



もう二度と
会うことも
ないだろうし

ズッ



名残惜しい？

自惚れないで



これでようやく
自分の仕事に集中
できるし

血まみれで
帰ってくる
あんたにいちいち
驚かされることも
なくなるのよ

これ以上
嬉しいことは
ないわ





それじゃあ
元気でね

バイバイ



そうして
名も知らぬ女は



朝の陽射しに
溶ける薄雪のように

私の前から
消えた

JKRTN5



あとがき

『アンノウン』をお手に取っていただきありがとうございます。
カフカが星穹列車に乗り込んで来た時の姫子の表情は額縁に入れて飾りたいくらい大好きです。姫子にあんな顔をさせるカフカ、二人の過去に
一体何があったんでしょうね…？

ゆーひ



アノウン

発行日：2024/12/29(COMIC MARKET105)

サークル：ARCADIA

製作者：ゆーひ

Pixiv：3014199

Twitter：@yuhi_2000

Bluesky：@yuhi-2000.bsky.social

E-mail：kitasato2000_knb@yahoo.co.jp

表紙デザイン：星屑屋 様(@HoshikuzuDesign)

印刷・製本：株式会社 栄光

※無断転載・複製・複写・インターネットへのアップロード
(ソーシャルメディア、オークションなど)、転売はお断りいたします。

※Unauthorized reprinting, reproduction, replication, uploading
to internet sites (social media, net auction sites, etc.) and resale
are prohibited.

DOWN

アインハウシ

Honkai: Star Rail unofficial fanbook





Honkai: Star Rail
unofficial
fanbook

アンノウン
Kafka × Himeko

[R18]
for adult only

アンノウン

Honkai: Star Rail unofficial fanbook

ANNOUNCEMENT